

\*\*\*\*\*

太田市立木崎小学校 学校通信



令和7年9月1日 No.8



大いちよう

マスコットキャラクター  
銀子ちゃん



 『木崎小学校 学校ブログ』は [こちらから](https://ota.schoolweb.ne.jp/1010076/weblog)  
<https://ota.schoolweb.ne.jp/1010076/weblog>

\*\*\*\*\*

## ～ 始業式 2学期がスタートします ～

45日間の夏休みが終わりました。今日から2学期のスタートとなりました。2学期は、一番長い学期であり、運動会や旅行・遠足、発表会等々、たくさんの行事もあります。一人ひとりが力を尽くしたり、仲間と協力して目標を成し遂げたりするかけがえのない学びの場がたくさんあります。

子ども達が、一つひとつ山を登り、峠を越えていくのを職員一同、全力で支援していきます。保護者の皆様におかれましても、子ども達の成長を見守りつつ応援をいただければ幸いです。

2学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

「始業式の話」から

45日の夏休みでしたが、たくさんの思い出が作れましたか？

1学期の終業式に校長先生が夏休みの役割について2つのお話をしました。

1つ目は、「それぞれ一人ひとりが、健康に過ごすために調節ができるように夏休みはある」ということ。みなさんの元気なあいさつを聞いてとてもうれしく思います。

2つ目は、「普段できない、『自分だけの学び』にチャレンジするため」というお話でした。日焼けしたみなさんの姿を見て、一人ひとりが沢山の特別な体験、学びをして元気に、そして一回り大きく成長して今日を迎えたのだなと感じています。2学期は、運動会や旅行・遠足といった学校行事がたくさんあります。また、終業式まで、114日間という一番長い学期でもあります。勉強に運動に、自分からチャレンジする気持ちを大切に、たくさんの学びを手に入れてください。

さて、2学期のスタートにあたり、「人を笑顔にする算数」というお話をします。ずいぶん前に、テレビ広告でやっていたものですが、心に残ったものなので紹介します。

「+」(たす)は、「たすけあう」

「-」(ひく)は、「ひきうける」

「×」(かける)は、「声をかけあう」

「÷」(わる)は、「わけあう」

それは、人を笑顔にする算数、思いやり算。ほら、やさしいでしょ。とナレーションが続きます。15秒ほどのコマーシャルでしたが、「人を笑顔にする算数」というところと、「ほら、やさしいでしょ」というところが、私はとても気に入りました。困っている友だちがいれば助け合い、どうしようかなど迷うときは引き受け、よく声をかけ合い、喜びも悔しさも分かち合う。そんな『思いやり算』であふれる木崎小にしていきましょう。



## いじめ防止フォーラム ～8/1(金)～

8月1日、県立新田暁高校を会場に、太田市の小学生、中学生、高校生が一堂に集まって、いじめについての勉強会といじめ防止についての話し合いをしました。

本校から、代表委員会委員長の石塚悠乃さんが参加をしました。高校生がスライドを見せながら、いじめとは、どういうことかを確認したり、「助けてと言える勇気」「大丈夫と言えるやさしさ」「支え合える仲間」が大切といういじめを跳ね返すキーワードについて学んできました。また、小・中・高校の混合グループでグループワークもしました。高校生のお兄さん、お姉さん達のリーダーシップは素晴らしく、すぐに打ち解けて、意見交流で盛り上がりました。



▲グループワークの様子▲



▲高校生による発表スライド

## 木崎音頭まつり ～8/23(土)～

8月23日(土)17時より、木崎小学校校庭にて木崎音頭まつりが催されました。地域に根付いた伝統の「木崎音頭」を保育園・幼稚園や育成会、地区の方々と次々に壇上に上がり、見事な踊りを披露してくださいました。やぐらの上では、お囃子の生演奏。木崎小の児童も自慢の喉と演奏を披露してくれていました。地域文化の継承を世代を超えて感じられる素敵なイベントでした。本校運動会でも、4年生以上の児童による木崎音頭を披露する予定です。



▲地域の方がたくさんお越しになりました



▲やぐらでお囃子、壇上で踊りを披露する児童達



## セーフティーぎざき

2学期のスタートにあたって、登下校の交通安全・事故防止の点検と指導を行いました。

下校時に職員が通学路点検をしました。徒歩下校の児童の様子を見守りながら、道路の横断や歩道のない道路の歩行を観察しながら、児童へ助言をしました。道路の陥没や工事箇所の通行も確認をしてきました。

また、スクールバスの安全安心利用に向けて、2点の改善を決め、実施を始めました。1つ目は、停留所下車児童数の確認と運転手との共有。毎日、下車人数を記載したカードを職員から運転手に手渡し、確実に安全な利用促進を図ります。2つ目は、児童の乗車時にランドセル等の荷物は膝におき、背もたれに背中がしっかりと付いた状態でシートベルトを機能させるようルール徹底を指導しました。登校時の乗車についても同様なので、利用児童に保護者の方からもご指導いただけるようお願いします。また、バス下車直後は、バスが動き出すまではバスの前後を横切らず、待つように指導もしました。安全安心なバス利用をこれからも推進していきます。